

清須市公共施設 市民フォーラム

令和2年 1月25日(土)

清須市 総務部 財政課

清須市の現状とこれまでの取組

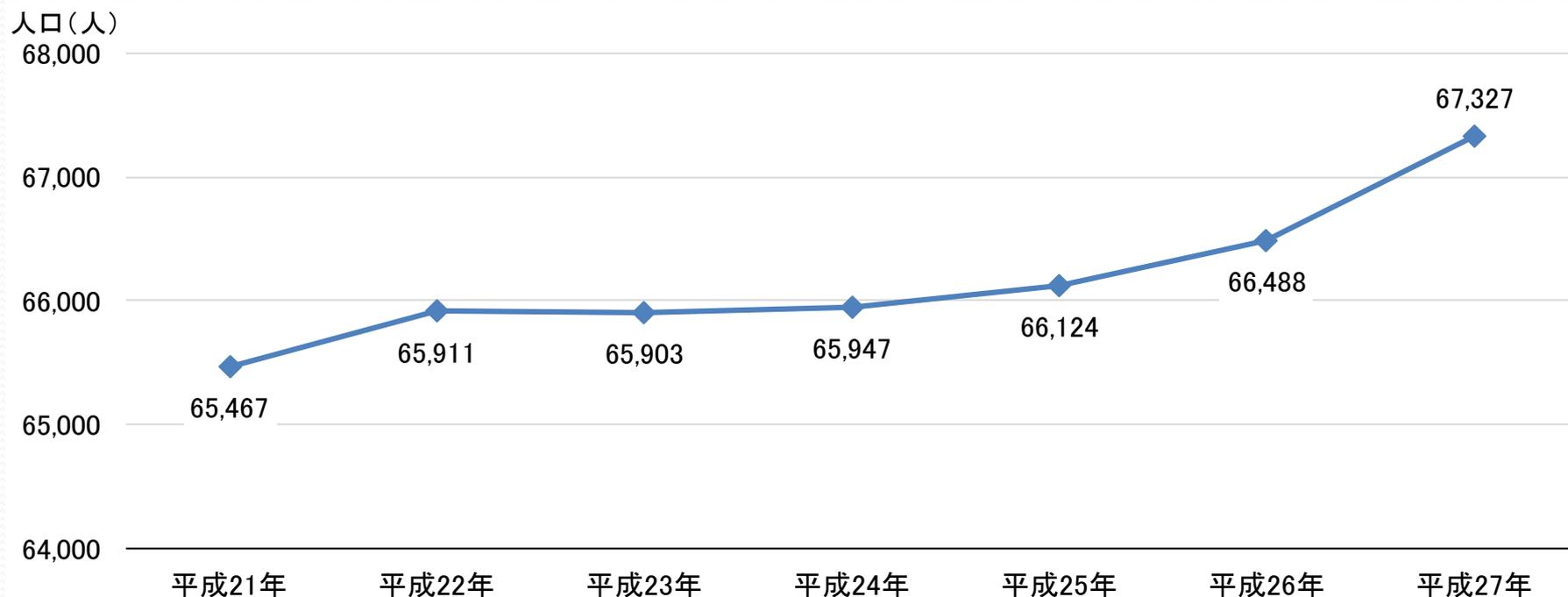
1 清須市の誕生

- ◆本市は、平成17年7月に西枇杷島町、清洲町及び新川町の合併により誕生し、平成21年10月には春日町との合併を経て、現在に至る。
- ◆合併前の旧4町からたくさんの公共建築物を受け継いだ。



2 人口の推移

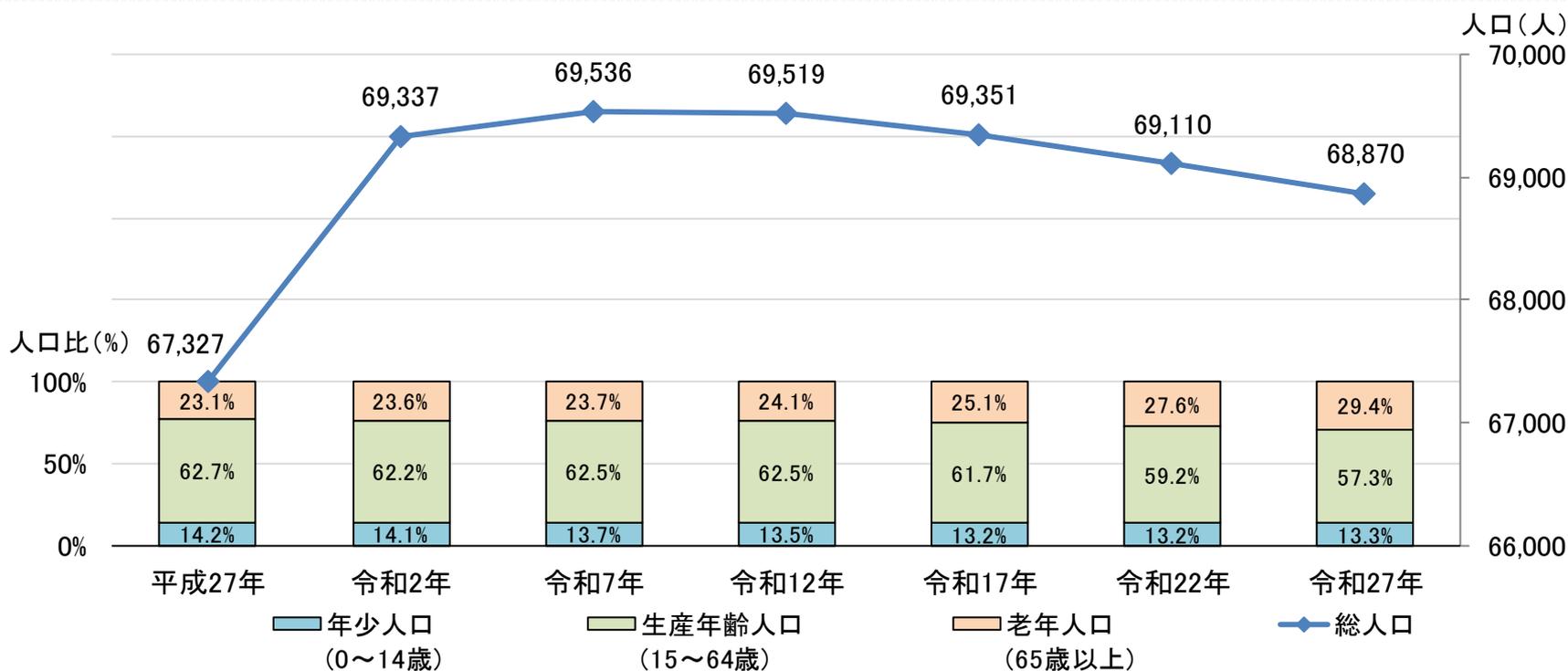
合併により人口は6万人を超え、その後も増加し続けている



◆ 旧春日町の人口が加算された平成22年より約1,500人増加した。

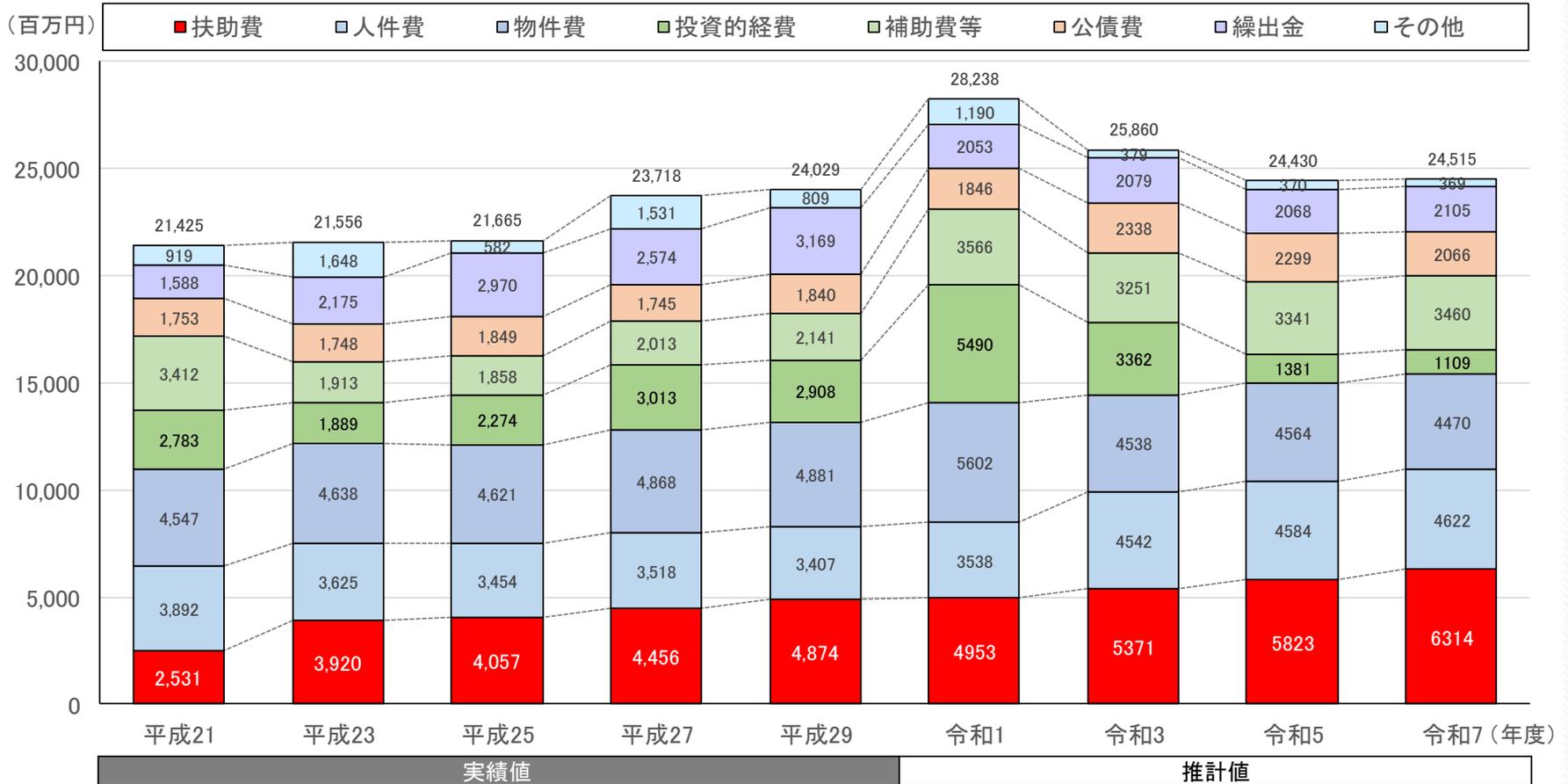
3 人口の見通し

人口推移は 2025 (令和7) 年をピークとして緩やかに減少していく傾向



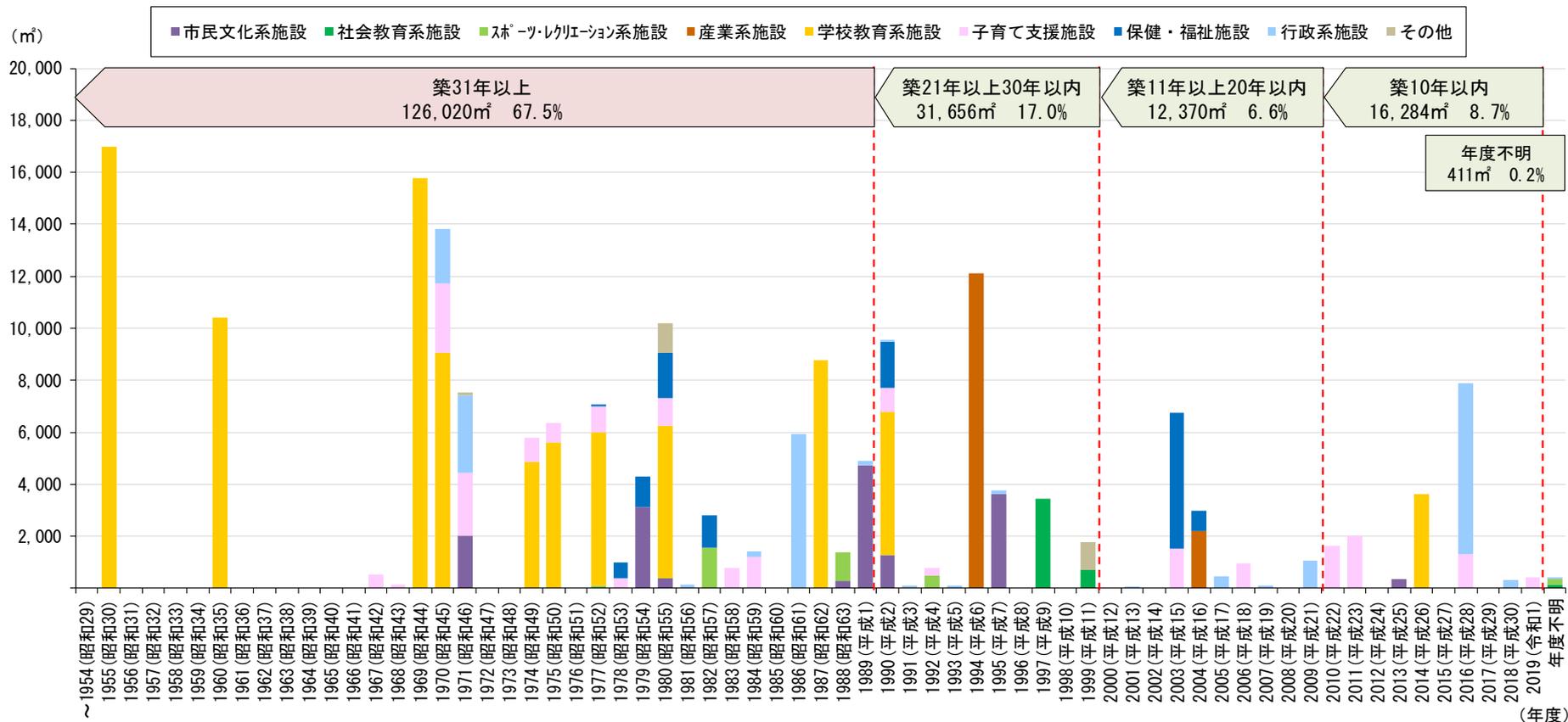
◆ 令和27年には老年人口は2万人を超過し、総人口の約3割に達する見込み。

4 歳出見込み



◆推計値である令和7年度の扶助費は、平成21年度と比較して約2.5倍に増加する見込みである。（歳出総額の増加率は約1.1倍）

5 年度別整備状況

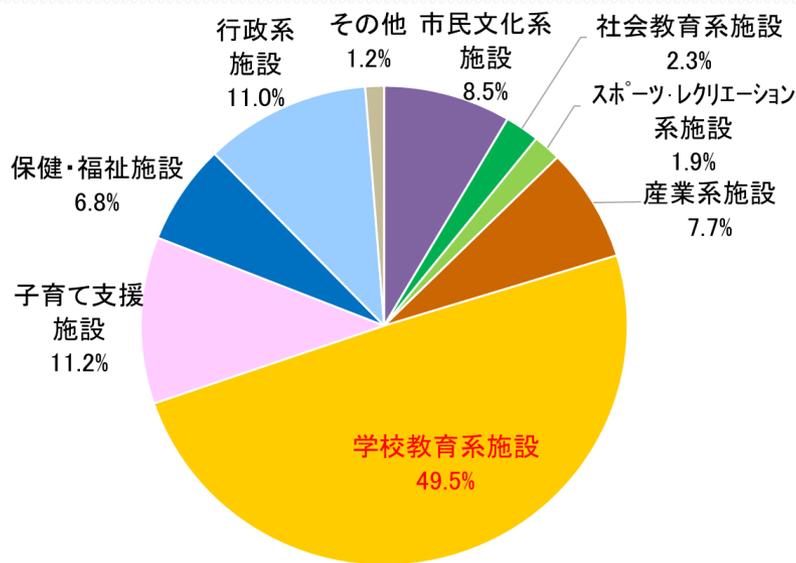


◆ 学校教育系施設を中心に67.5%の建物が建築後30年を超え、大規模な修繕や改築が必要な時期を迎えている。

6 保有する公共施設量

対象施設：92施設

総延床面積：186,741m²

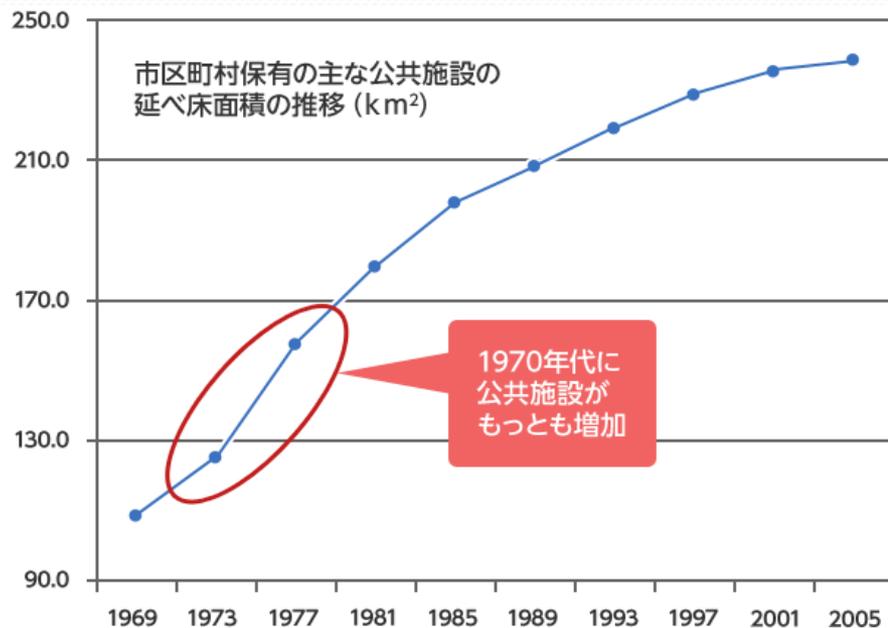


施設区分	対象施設	施設数	延床面積 (m ²)
市民文化系施設	清洲市民センター、カルチハ新川等	8	15,800
社会教育系施設	市立図書館、はるひ美術館等	3	4,284
スポーツ・レクリエーション系施設	春日B&G体育館、清洲城等	7	3,464
産業系施設	ARCO清洲等	2	14,299
学校教育系施設	学校、学校給食センター等	13	92,383
子育て支援施設	幼稚園、保育園、児童館等	27	20,983
保健・福祉施設	老人福祉センター、保健センター等	10	12,615
行政系施設	市役所、新川はれあい防災センター等	19	20,588
その他	はるひ夢の森公園等	3	2,325
総計		92	186,741

◆小中学校等の学校教育系施設の延床面積が92,383m²で、総延床面積の約50%を占めている。

7 公共施設における事故の事例

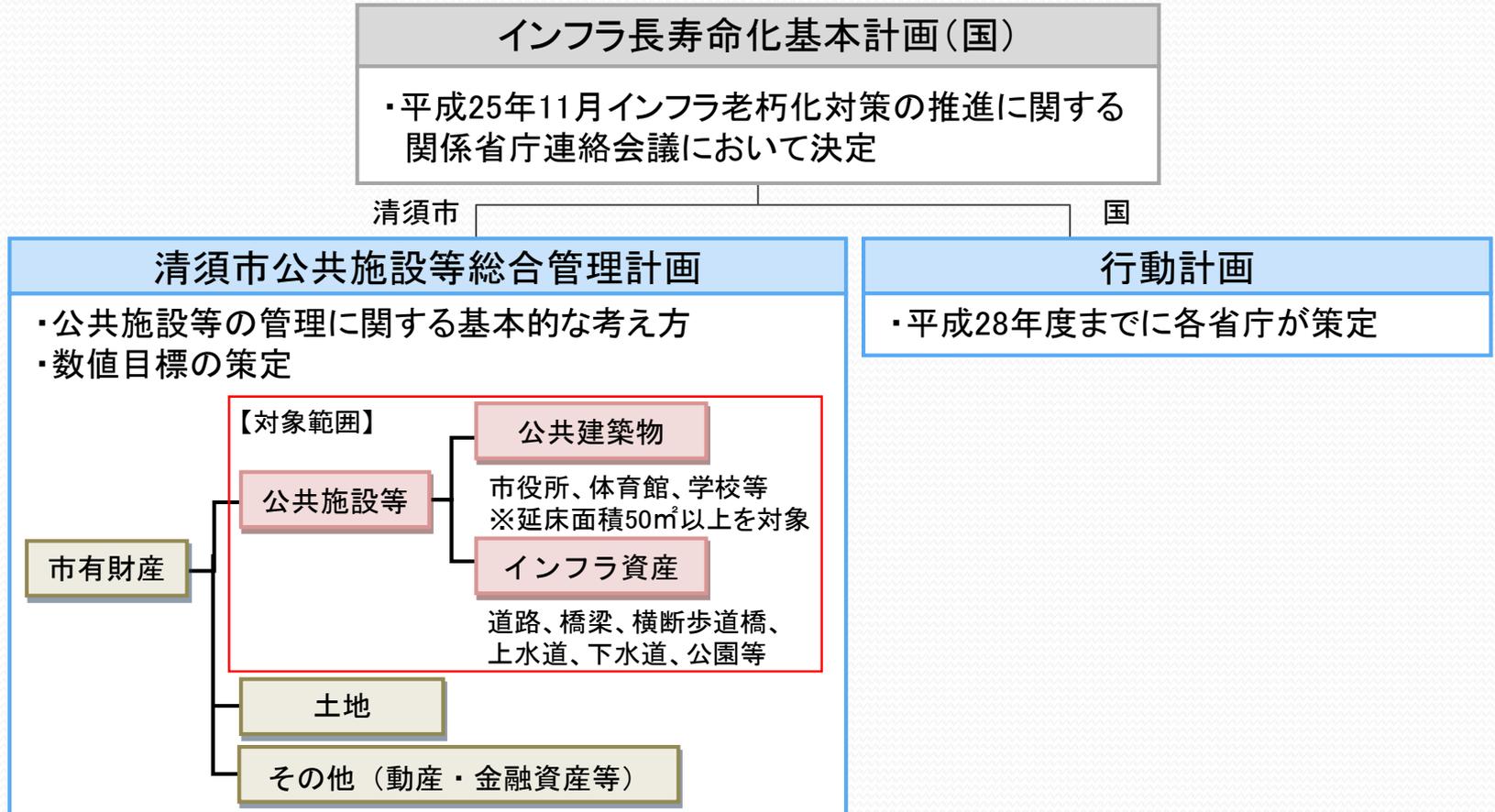
中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故(H24.12.2)



トンネルの天井板が落下し、9人が死亡。原因は天井板を支えていた吊り構造部分の劣化だった。

◆ 厳しい財政状況の中、公共施設を安全に維持していくためには、状況把握と実効性のある管理方針の策定が不可欠。

8 公共施設等総合管理計画の策定



計画期間

平成29年度から令和13年度までの15年間（原則として5年ごとに見直し）

9 公共施設等再編への具体的な方針

1 点検・診断等の実施方針

2 維持管理・修繕・更新等の実施方針

3 安全確保の実施方針

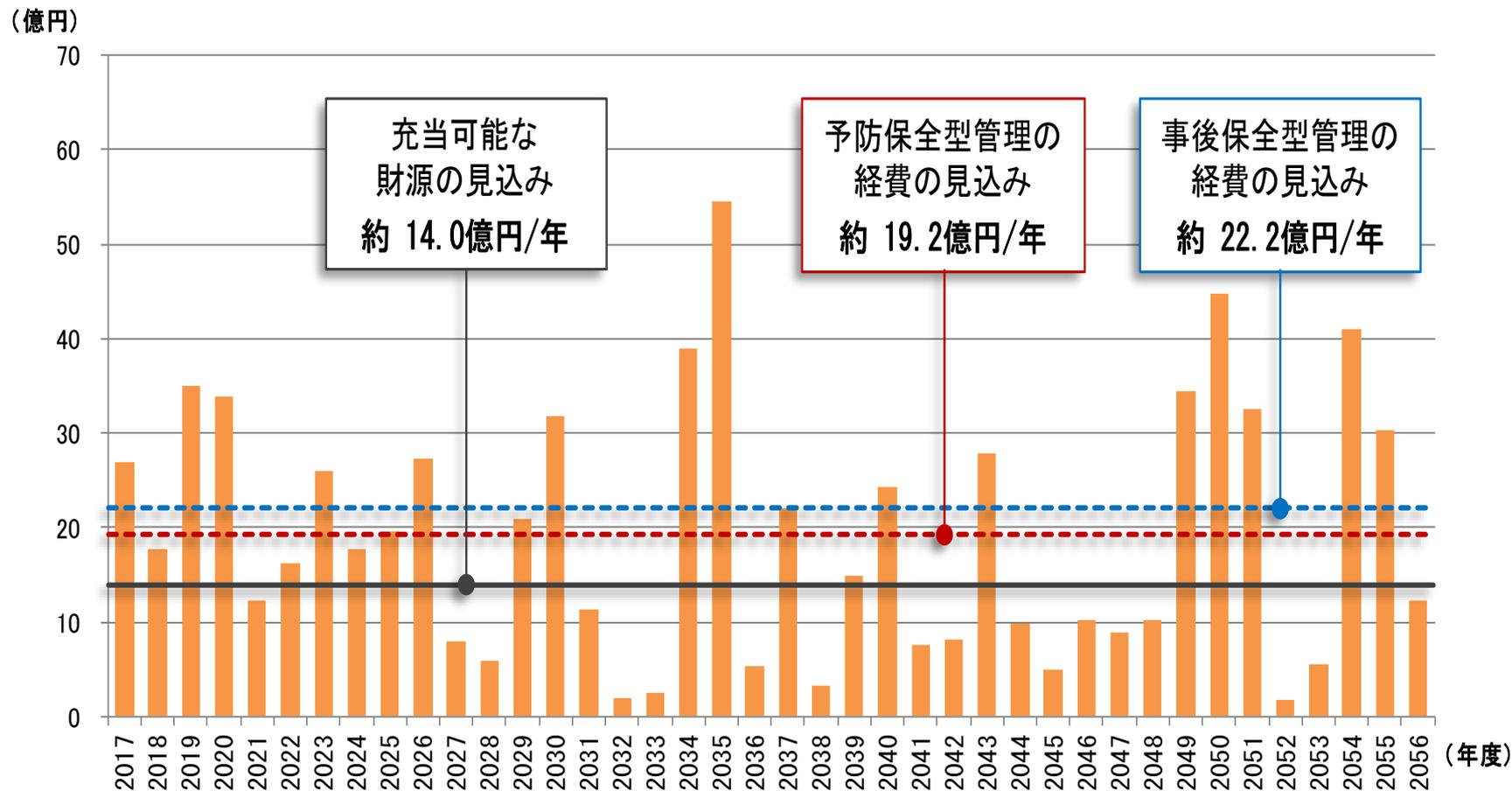
4 耐震化の実施方針

5 長寿命化の実施方針

6 統合や廃止の推進方針

7 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

10 縮減目標



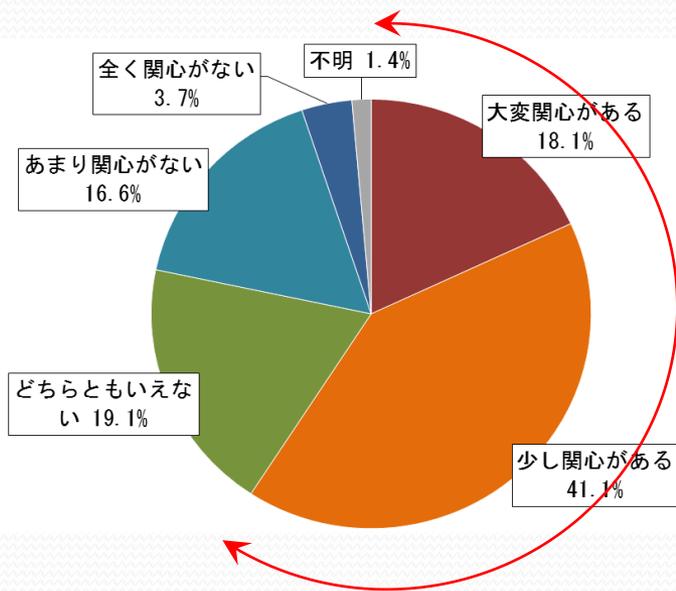
清須市の縮減目標

今後40年間で、公共建築物の延床面積を17.7%縮減する

11 市民アンケートの実施

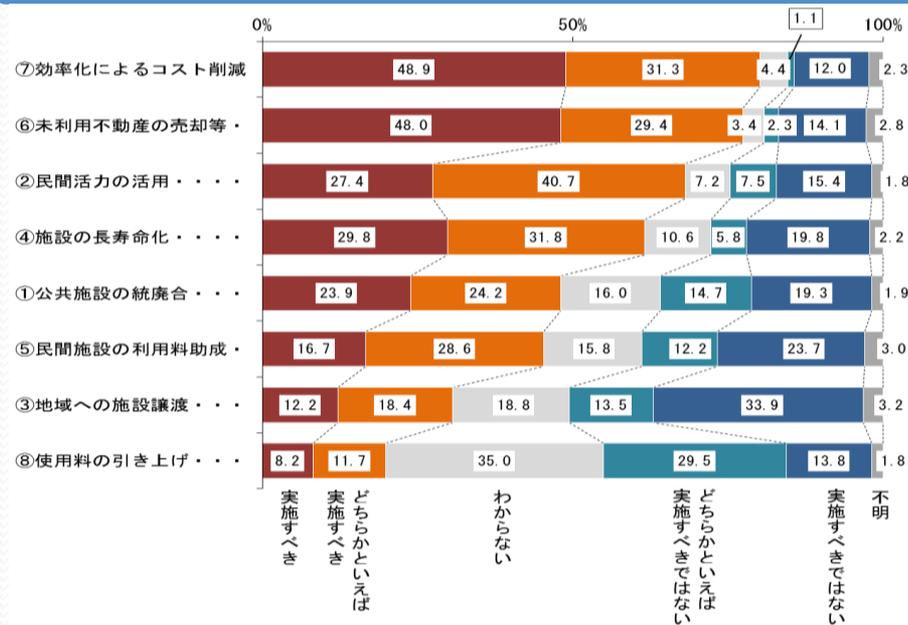
調査名 清須市の公共施設のあり方に関する市民アンケート調査
 調査対象 20歳以上の市民2,000人を無作為に抽出
 調査期間 平成27年9月1日～9月30日
 総回答数 872人（回収率43.6%）

公共施設に対する関心



回答者のうち59.2%が
公共施設に関心があると回答

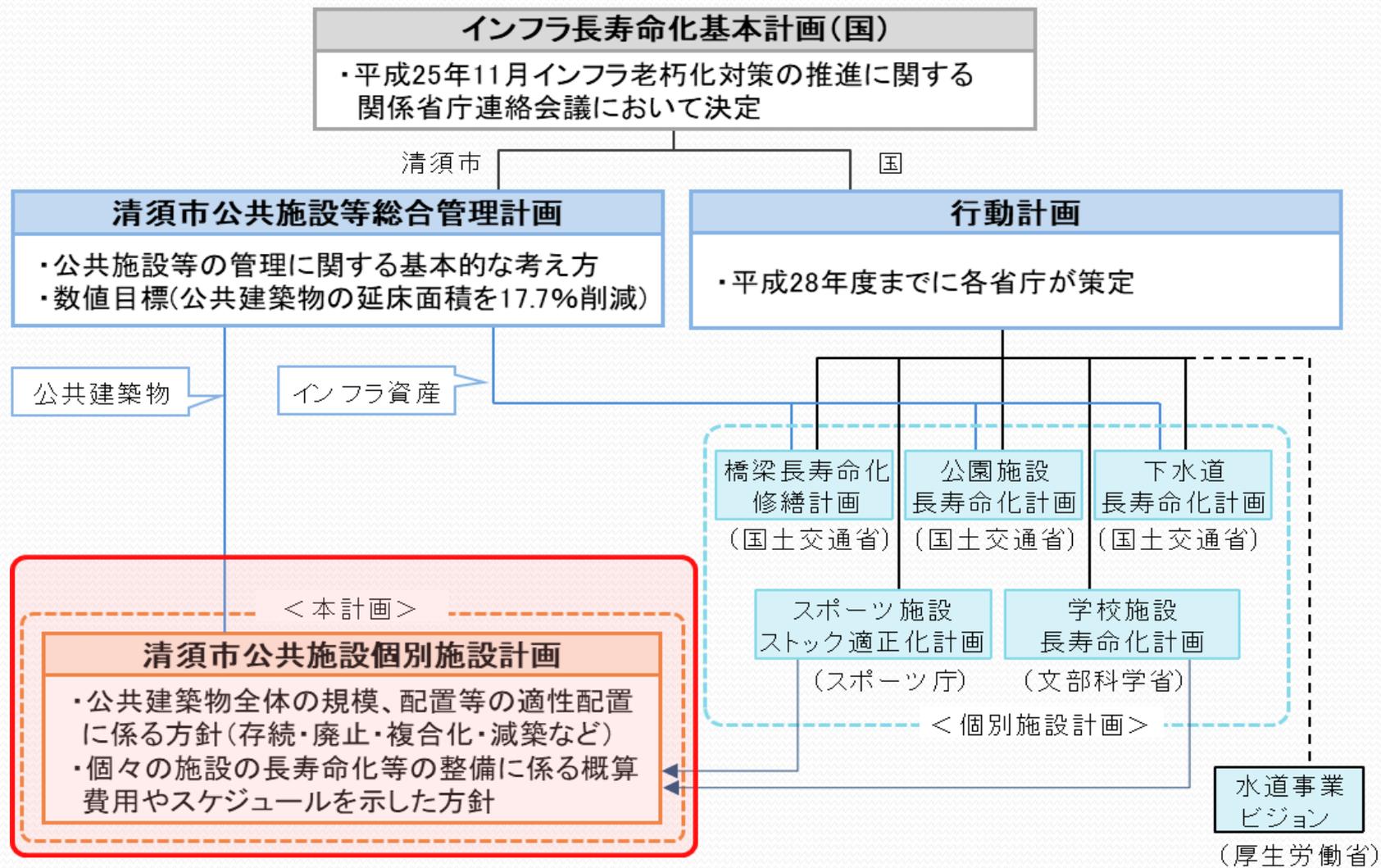
今後の公共施設のあり方



コスト削減や長寿命化による
維持管理が支持されている

公共施設個別施設計画の概要

1 背景と目的



2 計画期間

令和2年度～令和13年度までの12年間

※検証期間を10年ごとの4期に区分し、今後の社会情勢や市民ニーズ等の変化に柔軟に対応するため、総合管理計画の見直し(原則として5年ごと)のタイミングで計画の見直しを行う。

区分		第1期	第2期	第3期	第4期
年度	H29～	R2～R8年度	R9～R18年度	R19～R28年度	R29～R38年度
公共施設等 総合管理計画	原則として5年ごと に見直し				
公共施設 個別施設計画		計画期間			
		検証期間			

3 対象施設

施設区分	施設名
文化ホール	小田井公民館、清洲市民センター(ホール)、カルチバ新川(ホール)、春日公民館
集会施設	西枇杷島会館、にしびさわやかプラザ、水の交流ステーション、みずとぴあ庄内、清洲市民センター(集会施設)、清洲コミュニティセンター、朝日公民館、新川ふれあい防災センター
福祉施設	西枇杷島老人福祉センター、老人憩の家、西枇杷島生きがいセンター、清洲総合福祉センター、新川福祉センター、春日老人福祉センター、春日老人福祉センター3階(県貸付)
教養施設	清洲城(天主閣・芸能文化館)、清洲ふるさとのやかた、市立図書館、はるひ美術館
スポーツ施設	ARCO清洲(プール・体育館)、カルチバ新川(プール)、春日B&G体育館
小学校 中学校	<小学校> 西枇杷島、古城、清洲、清洲東、新川、星の宮、桃栄、春日 <中学校> 西枇杷島、清洲、新川、春日
幼稚園 保育園	<幼稚園> 西枇杷島第1 <保育園> 西枇杷島、芳野、本町、一場、花水木、新清洲、朝日、須ヶ口、土器野、桃栄、星の宮、中之切、ネギヤ
幼児・ 児童施設	<児童館> 西枇杷島児童センター、小田井児童館、清洲児童館、清洲児童センター(ウイング)、新川児童センター、星の宮児童センター、桃栄児童館、春日児童館 <子育て支援センター> 西枇杷島、清洲、新川、春日
庁舎等	市役所(北館、南館)、旧西枇杷島庁舎、たんぽぽ園、にしびりサイクルセンター、清洲資源回収ステーション、春日資源回収ステーション、学校給食センター
保健施設	西枇杷島、清洲、新川、春日

公共施設の管理に関する 課題と基本方針

1 公共施設の管理に関する課題

〔課題1〕 日常的な点検・修繕等の実施

- ◆事後的な修繕が中心となっており、予防的な管理ができていない。

〔課題2〕 安全性及び機能性の確保

- ◆建築後30年を超える公共建築物が約6割超、全体的に老朽化が進行している。

〔課題3〕 財政負担の軽減及び平準化

- ◆定期的な修繕等が必要であり、これらに要する費用の増大が見込まれる。

〔課題4〕 更なる公共施設の統廃合

- ◆市域全体を見据えた一体的なまちづくりの推進が必要。

〔課題5〕 効率的な施設の利用及び維持管理

- ◆公共施設の重複により利用の分散や偏重が発生し、十分に活用されていない。

2 基本方針

1 事後的管理から予防保全型管理への転換

総合管理計画の考え方に基づき、目標耐用年数を80年と定め、予防保全型管理を徹底します。また、各施設の修繕及び改築の実施時期を一元管理し、定期的な修繕による施設の安全性・機能性の確保に加え、事業の平準化による財政負担の軽減を図ります。

2 施設総量の最適化

機能面で重複する施設や地域により偏重がみられる施設を中心に、市域全体の施設配置のバランスを踏まえつつ、統合及び複合化を図ることにより、施設総量の最適化に努めます。同時に余剰スペースの解消を図り、施設の機能性を高め、魅力ある公共施設の構築を目指します。

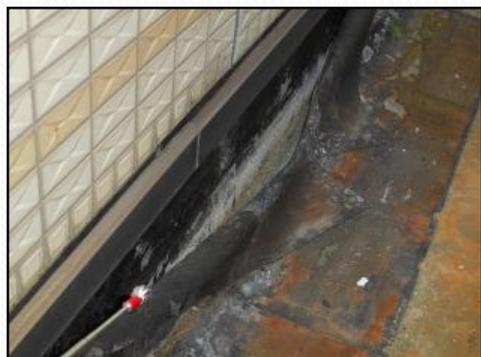
3 効果的・効率的な維持管理の推進

公共サービスとしてではなく、民間による提供が可能と判断される施設については、民間への譲渡を行うことにより施設機能の維持を図ります。民間への譲渡に当たっては、提供サービスの低下が生じないように、譲渡先や譲渡に伴う条件を慎重に検討します。

適正配置方針

1 劣化状況調査の実施

◆屋根、外装、内装、躯体、機械設備、電気設備、基礎、屋外について劣化状況調査を実施し、健全度を算定することで、適正配置方針策定の基礎資料としました。



屋根：防水層の剥離（健全度D）



外装：外壁の剥落（健全度D）



内装：床面にひびわれ（健全度D）



躯体：鉄骨の腐食（健全度C）



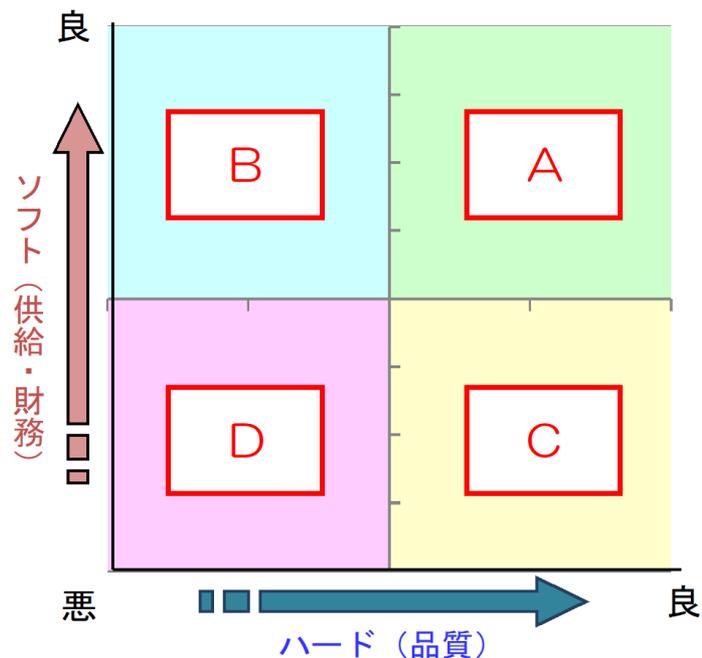
電気設備：架台の錆（健全度C）



屋外：通路部の段差（健全度D）

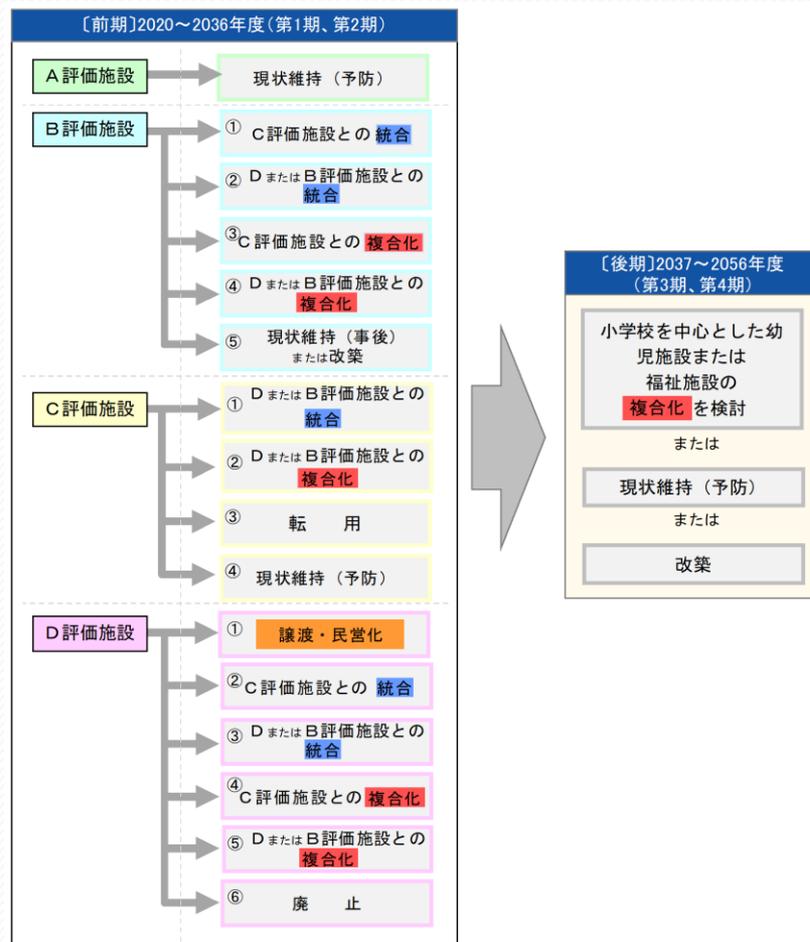
2 一次評価及び二次評価

一次評価の考え方



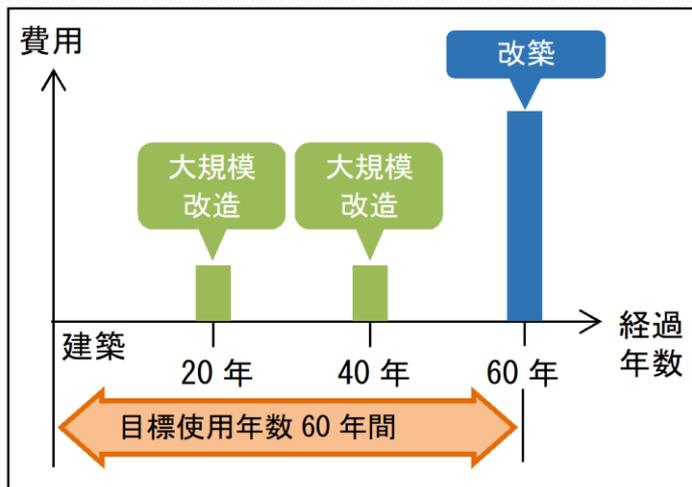
区分	区分の概要	評価
A	ハード・ソフトともに優れている	良好
B	ハードは劣るがソフトが優れている	ハード面の改善が必要
C	ハードは優れているがソフトが劣る	ソフト面の改善が必要
D	ハード・ソフトともに劣る	ハード、ソフト両面での改善が必要

二次評価のフローチャート



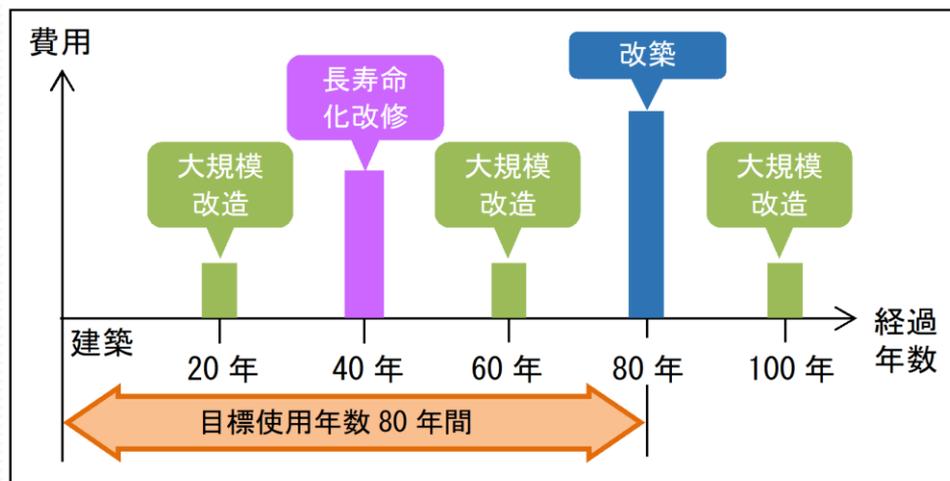
3 改築の時期等の設定

【再編対象施設】



目標耐用年数60年
〈事後保全型管理〉
◆大規模改造
◆改築

【今後も存続する施設】



目標耐用年数80年
〈予防保全型管理〉
◆大規模改造
◆長寿命化改修
◆改築

4 各施設類型別の方針

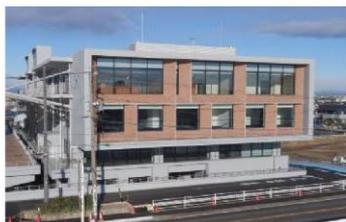
(1) 庁舎等

目指すべきサービスのあり方

近い将来発生が想定される南海トラフ地震や近年頻発する大規模災害に見舞われた際にも、市役所をはじめとした庁舎等の義務的施設は、行政事務や危機管理対応機能の業務継続性が必要とされる施設です。市が担うべき役割、市民のニーズやライフスタイルなどの社会環境の変化等を踏まえつつ、より住みやすい街づくりを念頭に、市民が安全・安心に生活できる環境づくりを推進していきます。

対象施設

市役所(北館)



延床面積	6,549 m ²
経過年数	4年(長寿命化)
一次評価	ハード偏差値: 70.3

市役所(南館)



延床面積	5,570 m ²
経過年数	34年(長寿命化)
一次評価	ハード偏差値: 48.5

旧西枇杷島庁舎



延床面積	2,970 m ²
経過年数	49年(廃止)
一次評価	ハード偏差値: 31.5

たんぽぽ園



延床面積	769 m ²
経過年数	37年(改築)
一次評価	ハード偏差値: 48.6

にしびりサイクルセンター



延床面積	122 m ²
経過年数	13年(譲渡)
一次評価	ハード偏差値: 67.0

清洲資源回収ステーション



延床面積	52 m ²
経過年数	50年(統合)
一次評価	ハード偏差値: 30.0

春日資源回収ステーション



延床面積	60 m ²
経過年数	19年(統合)
一次評価	ハード偏差値: 59.6

学校給食センター



延床面積	3,628 m ²
経過年数	6年(長寿命化)
一次評価	ハード偏差値: 69.4

(2) 文化ホール

目指すべきサービスのあり方

文化ホールは、成人式等の市主催の事業の場であるほか、文化活動や音楽活動等を通じて、市民の自由な創造活動の促進に寄与してきました。大規模かつ多目的に利用可能な施設であることから、近隣の自治体からも利用され、市民のみならず地域に貢献する施設です。利用状況の実態やニーズ等の分析により集中と効率化を図ることで、より質の高い空間を整備し、文化芸術活動の振興及び市民の交流の活性化を図ります。

対象施設

小田井公民館



延床面積	1,283 m ²
経過年数	30年（統合）
一次評価	C

清洲市民センター（ホール）



延床面積	2,292 m ²
経過年数	41年（統合）
一次評価	D

カルチバ新川（ホール）



延床面積	1,820 m ²
経過年数	25年（統合）
一次評価	B

春日公民館



延床面積	4,715 m ²
経過年数	31年（統合）
一次評価	D

(3) 集会施設

目指すべきサービスのあり方

集会施設は、地域コミュニティの形成を図ることを目的として設置された施設であり、地域住民が主体となって生涯学習等の活動拠点として利用しています。利用状況の実態や市民ニーズ等の分析により集中と効率化を図ることで、より質の高い空間を整備し、多様な市民活動の運営、各種活動を通じた多世代間の出会いや交流の促進、地域社会へ積極的に参画を促すコミュニティの創造等を支援していきます。

対象施設

西枇杷島会館



延床面積	2,010 m ²
経過年数	49年(統合)
一次評価	D

にしびさわやかプラザ



延床面積	2,200 m ²
経過年数	16年(長寿命化)
一次評価	C

水の交流ステーション



延床面積	372 m ²
経過年数	7年(長寿命化)
一次評価	A

みずとぴあ庄内



延床面積	460 m ²
経過年数	15年(長寿命化)
一次評価	ハード偏差値 65.8

清洲市民センター(集会施設)



延床面積	817 m ²
経過年数	41年(統合)
一次評価	D

清洲コミュニティセンター



延床面積	298 m ²
経過年数	32年(譲渡)
一次評価	B

朝日公民館



延床面積	374 m ²
経過年数	40年(長寿命化)
一次評価	C

新川ふれあい防災センター



延床面積	2,051 m ²
経過年数	50年(改築)
一次評価	D

(4) 福祉施設

目指すべきサービスのあり方

人生100年・定年延長の時代を鑑み、近年問題となっている高齢者の孤立化への対策が求められています。人と人とのつながりを通じて、各々が生きがいと役割を持って生活できる地域を目指すためには、福祉施設のみでの対応では不十分です。施設の役割を見直し、他施設との複合化を図ることにより、地域コミュニティと連携した高齢者福祉を構築し、心身ともに健康な生活を送ることが可能になる環境づくりを推進します。

対象施設

西枇杷島老人福祉センター



延床面積	1,182 m ²
経過年数	41年(統合)
一次評価	D

老人憩の家



延床面積	68 m ²
経過年数	43年(統合)
一次評価	ハート偏差値: 39.5

西枇杷島生きがいセンター



延床面積	1,784 m ²
経過年数	30年(長寿命化)
一次評価	C

清洲総合福祉センター



延床面積	5,219 m ²
経過年数	17年(長寿命化)
一次評価	C

新川福祉センター



延床面積	673 m ²
経過年数	38年(複合化)
一次評価	B

春日老人福祉センター



延床面積	2,206 m ² (県貸付部 1,125 m ² を含む)
経過年数	40年(複合化)
一次評価	D

(5) 保健施設

目指すべきサービスのあり方

保健センターの主な役割は、健康診断や各種検診の実施と面談を活用して相談の場を提供することです。乳幼児の健康診断を通じて、虐待やDVの早期発見など、担当部署と連携して市民の生活支援を行うための窓口となっています。利用状況の実態や市民ニーズ等の分析により集中と効率化を図り、地域保健の広域的、専門的かつ技術的な拠点として、安心して利用できる環境を整えると同時に、地域保健対策の機能強化を図ります。

対象施設

西枇杷島保健センター



延床面積	784 m ²
経過年数	16年（統合）
一次評価	ハード偏差値 61.2

清洲保健センター



延床面積	607 m ²
経過年数	42年（統合）
一次評価	ハード偏差値 43.1

新川保健センター



延床面積	545 m ²
経過年数	38年（統合）
一次評価	ハード偏差値 48.6

春日保健センター



延床面積	672 m ²
経過年数	40年（統合）
一次評価	ハード偏差値 46.2

(6) 教養施設

目指すべきサービスのあり方

清洲城等の歴史的建造物は、本市の象徴として、市民や子供たちを中心に地域の伝統文化継承の機運を高める役割を担っています。教養・文化施設は、学術及び文化に関する各種の事業を行い、市民の教養の向上、市民の芸術・文化活動を推進する目的に設置され、本市の文化の発展に資する施設です。利用状況の実態や市民ニーズ等の分析により、民間活力の活用を含めた効率化を検討しつつ、保存活動を推進していきます。

対象施設

清洲城・天主閣



延床面積	773 m ²
経過年数	32 年(長寿命化)
一次評価	ハート [®] 偏差値 : 44.7

清洲城・芸能文化館



延床面積	331 m ²
経過年数	32 年(長寿命化)
一次評価	ハート [®] 偏差値 : 44.7

清洲ふるさとのやかた



延床面積	492 m ²
経過年数	28 年(長寿命化)
一次評価	ハート [®] 偏差値 : 53.2

市立図書館



延床面積	3,436 m ²
経過年数	23 年(長寿命化)
一次評価	A

はるひ美術館



延床面積	696 m ²
経過年数	21 年(長寿命化)
一次評価	C

(7) スポーツ施設

目指すべきサービスのあり方

市民のみならず多くの利用者が訪れる施設です。個人及び団体によるスポーツ活動のほか、生き甲斐や健康づくりの目的でも利用され、超高齢社会を見据えた介護予防への啓蒙活動にも寄与することが見込まれます。利用状況の実態や市民ニーズ等の分析により集中と効率化を図ることで、より質の高い空間を整備し、スポーツ及びレクリエーションの振興、市民福祉の増進を図ります。

対象施設

ARCO 清洲



延床面積	体育館: 6,050 m ²
	プール: 6,049 m ²
経過年数	26年(統合)
一次評価	B

カルチバ新川(プール)



延床面積	1,819 m ² (文化ホールの1,820 m ² は除く)
経過年数	25年(統合)
一次評価	B

春日 B&G 体育館



延床面積	1,576 m ²
経過年数	38年(長寿命化)
一次評価	A

(8) 小・中学校

目指すべきサービスのあり方

小・中学校は、地域コミュニティのシンボルであり、大規模災害時には避難所としても利用される重要な施設のひとつです。少子化に伴う児童・生徒の減少を踏まえた施設規模を検討しつつ、将来は、児童福祉施設をはじめとした他施設との複合化を図ることで、子どもの保護者を中心とした「若い世代の交流空間」と高齢者や地域住民等と共同で利用する「多世代型の公共空間」を形成していきます。

対象施設

西枇杷島小学校



延床面積	8,771 m ²
経過年数	33年(長寿命化)
一次評価	A

西枇杷島中学校



延床面積	10,411 m ²
経過年数	60年(長寿命化)
一次評価	B

古城小学校



延床面積	5,619 m ²
経過年数	45年(長寿命化)
一次評価	A

清洲小学校



延床面積	9,134 m ²
経過年数	65年(長寿命化)
一次評価	A

清洲中学校



延床面積	8,844 m ²
経過年数	51年(長寿命化)
一次評価	A

清洲東小学校



延床面積	5,867 m ²
経過年数	40年(長寿命化)
一次評価	A

対象施設

新川小学校



延床面積	7,840 m ²
経過年数	65年(長寿命化)
一次評価	B

新川中学校



延床面積	9,056 m ²
経過年数	50年(長寿命化)
一次評価	A

星の宮小学校



延床面積	4,871 m ²
経過年数	46年(長寿命化)
一次評価	A

桃栄小学校



延床面積	5,501 m ²
経過年数	30年(長寿命化)
一次評価	A

春日小学校



延床面積	6,925 m ²
経過年数	51年(長寿命化)
一次評価	A

春日中学校



延床面積	5,916 m ²
経過年数	43年(長寿命化)
一次評価	A

(9) 幼稚園・保育園

目指すべきサービスのあり方

少子化による年少人口の減少、共働き家庭の増加による保育ニーズの増加など、幼稚園・保育園を取り巻く状況は急速に変化しており、対策が急務です。市が担うべき役割、ライフスタイルなどの社会環境の変化や将来的な市民ニーズの変化等を踏まえつつ、今後も事業を継続していくために民間活力の活用を検討し、安定的かつ質の高い保育・教育サービスの提供を目指します。

対象施設

西枇杷島保育園



延床面積	1,208 m ²
経過年数	36年(民営化)
一次評価	D

芳野保育園



延床面積	882 m ²
経過年数	4年(長寿命化)
一次評価	C

西枇杷島第1幼稚園



延床面積	1,323 m ²
経過年数	50年(民営化)
一次評価	B

一場保育園



延床面積	523 m ²
経過年数	53年(民営化中)
一次評価	D

花水木保育園



延床面積	2,026 m ²
経過年数	9年(長寿命化)
一次評価	C

新清洲保育園



延床面積	937 m ²
経過年数	46年(長寿命化)
一次評価	C

本町保育園



延床面積	1,002 m ²
経過年数	40年(民営化)
一次評価	D

朝日保育園



延床面積	725 m ²
経過年数	45年(民営化)
一次評価	D

対象施設

須ヶ口保育園



延床面積	1,631 m ²
経過年数	10年(長寿命化)
一次評価	C

土器野保育園



延床面積	1,064 m ²
経過年数	17年(長寿命化)
一次評価	C

星の宮保育園



延床面積	990 m ²
経過年数	43年(民営化)
一次評価	D

桃栄保育園



延床面積	1,342 m ²
経過年数	50年(民営化)
一次評価	D

中之切保育園



延床面積	1,035 m ²
経過年数	49年(民営化)
一次評価	D

ネギヤ保育園



延床面積	1,321 m ²
経過年数	49年(民営化)
一次評価	D

(10) 幼児・児童施設

目指すべきサービスのあり方

地域全体による子育て支援の基盤形成を図る目的で設置され、少子化及び人口減少対策の一翼を担う重要な施設です。利用状況の実態や市民ニーズ等の分析により集中と効率化を図り、地域の拠点となる児童福祉施設を整備することによって、子育て交流や地域コミュニティづくりの場を設け、親子の健康を守り、子育て世帯の負担を低減するための子育て支援サービスや相談体制の充実を図ります。

対象施設

西枇杷島児童センター



延床面積	439 m ²
経過年数	41年 (R1 移転改築中)
一次評価	B

西枇杷島子育て支援センター



延床面積	65 m ²
経過年数	4年 (長寿命化)
一次評価	A

小田井児童館



延床面積	440 m ²
経過年数	30年 (長寿命化)
一次評価	C

清洲児童館



延床面積	400 m ²
経過年数	42年 (改築)
一次評価	B

清洲児童センター(ウイング)



延床面積	453 m ²
経過年数	17年 (統合)
一次評価	A

清洲子育て支援センター



延床面積	58 m ²
経過年数	40年 (統合)
一次評価	B

対象施設

新川児童センター



延床面積	378 m ²
経過年数	4年（統合）
一次評価	C

新川子育て支援センター



延床面積	146 m ²
経過年数	52年（統合）
一次評価	B

星の宮児童センター



延床面積	948 m ²
経過年数	14年（長寿命化）
一次評価	A

桃栄児童館



延床面積	294 m ²
経過年数	28年（長寿命化）
一次評価	C

春日児童館



延床面積	494 m ²
経過年数	30年（統合）
一次評価	C

春日子育て支援センター



延床面積	90 m ²
経過年数	49年（統合）
一次評価	B

5 今後20年程度の適正配置方針

一次評価の判定区分

区分	A	B	C	D
ハード	○	×	○	×
ソフト	○	○	×	×

凡例

統合検討	将来複合化検討
複合化検討	民営化検討

○: 偏差値≧50
×: 偏差値<50

【第1期 2020年～2026年】【第2期 2027年～2036年】

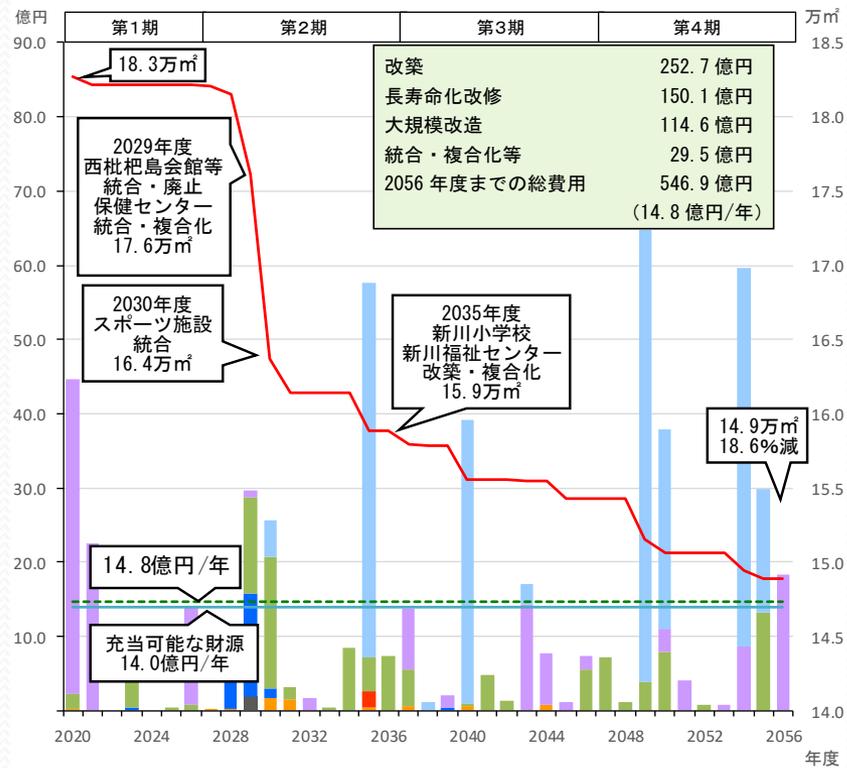
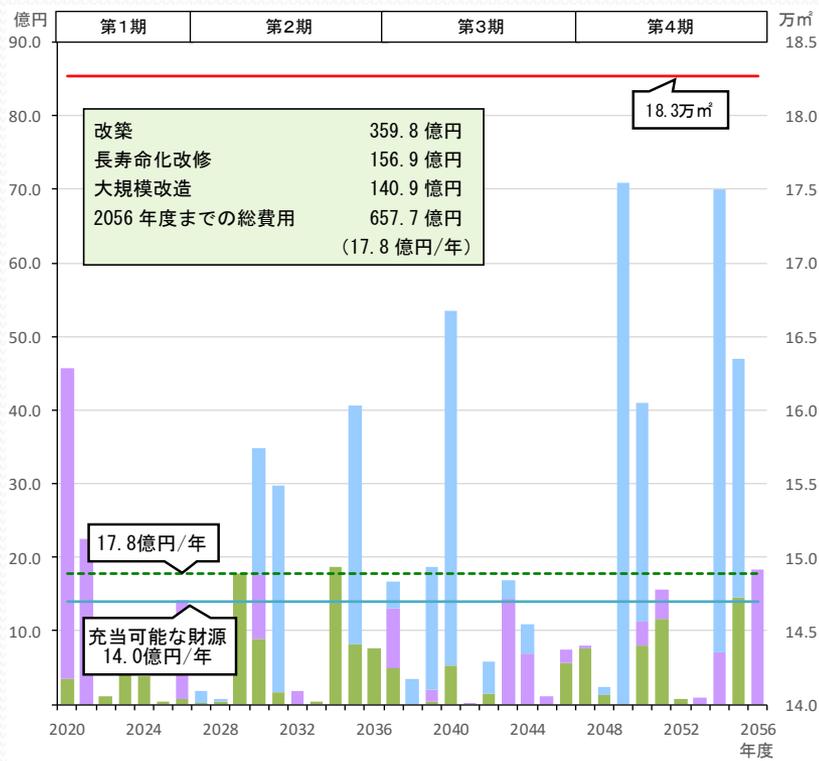
中学校地区	春日		清洲		星の宮	新川	桃栄	西枇杷島		古城				
小学校地区	春日		清洲		清洲東	新川	桃栄	西枇杷島	古城					
庁舎等	2001/第19年 春日資源回収ステーション 2030年度/統合検討	1970/第50年 清洲資源回収ステーション	2014/第6年 学校給食センター			1986/第34年 市役所(南館)	2016/第4年 市役所(北館)	1983/第37年 たんぽぽ園	2007/第13年 にしじりサイクルセンター 2027年度/民営化検討	1971/第49年 旧西枇杷島庁舎 2029年度/廃止検討				
文化ホール	1989/第31年 春日公民館 D	2029年度/統合検討		1979/第41年 清洲市民センター(ホール) D		1995/第25年 カルチ/新川(ホール) B	2029年度/統合検討		1990/第30年 小田井公民館(にしじり創造センター内) C					
集会施設	2028年度/民営化検討		1988/第32年 清洲コミュニティセンター B	1980/第40年 朝日公民館 C	1979/第41年 清洲市民センター(集会施設) D	1979/第50年 新川ふれあい防災センター D	2030年度/減築検討		2013/第7年2005/第15年 水の交流ステーション A	2004/第16年 にしじりわかづら C	1971/第49年 西枇杷島会館 D	2029年度/統合検討		
福祉施設	1980/第40年 春日老人福祉センター D	2003/第17年 清洲総合福祉センター C				1982/第38年 新川福祉センター B		1977/第43年 老人憩の家 -	1979/第41年 西枇杷島老人福祉センター D	1990/第30年 西枇杷島生きが/センター C				
保健施設	1980/第40年 春日保健センター -	1978/第42年 清洲保健センター -			2028年度/統合検討	1982/第38年 新川保健センター -		2004/第16年 西枇杷島保健センター -		2029年度/統合検討				
教養施設	1999/第21年 はるび美術館 C	1997/第23年 市立図書館 A	1992/第28年 清洲ふるさとのかた -	1988/第32年 清洲城・天主閣 -	1988/第32年 清洲城・芸能文化館 -	2035年度/複合化検討								
スポーツ施設	1982/第38年 春日B&O体育館 A			1994/第26年 ARCO清洲(体育館) B	1994/第26年 ARCO清洲(プール) B	1995/第25年 カルチ/新川(プール) B								
小学校	1989/第51年 春日小学校 A	1955/第65年 清洲小学校 A	1980/第40年 清洲東小学校 A	1974/第46年 星の宮小学校 A		1955/第65年 新川小学校 B	1990/第30年 桃栄小学校 A	1987/第33年 西枇杷島小学校 A		1975/第45年 古城小学校 A				
中学校	1977/第43年 春日中学校 A	1989/第51年 清洲中学校 A				1970/第50年 新川中学校 A			1980/第60年 西枇杷島中学校 B					
幼稚園	2031年度/民営化検討		2020年度/民営化	2040年度/民営化検討	2035年度/民営化検討	2037年度/民営化検討	2030年度/民営化検討		1970/第50年 西枇杷島第1幼稚園 B	2030年度/民営化検討				
保育園	1971/第49年 中之切保育園 D	1971/第49年 ネギヤ保育園 D	1967/第53年 一場保育園 D	2011/第59年 花木木保育園 C	1974/第46年 新清洲保育園 C	1980/第40年 本町保育園 D	1975/第45年 朝日保育園 D	1977/第43年 星の宮保育園 D	2010/第10年 須川口保育園 C	2003/第17年 土器野保育園 C	1970/第50年 桃栄保育園 D	2016/第44年 美野保育園 C	1984/第36年 西枇杷島保育園 D	2044年度/民営化検討
幼児・児童施設	1971/第49年 春日子育て支援センター B	1990/第30年 春日児童館 C	1978/第42年 清洲児童館 B	1980/第40年 清洲子育て支援センター B	2003/第17年 清洲児童センター(ライオン) A	2006/第14年 星の宮児童センター A	1968/第52年 新川子育て支援センター B	2016/第4年 新川児童センター C	1992/第28年 桃栄児童館 C	2020/移転改築 西枇杷島児童センター -	2016/第4年 西枇杷島子育て支援センター A	1990/第30年 小田井児童館(にしじり創造センター内) C		

個別施設計画による効果

1 ライフサイクルコストと数値目標の検証

【現状規模のまま
全ての公共施設を維持した場合】

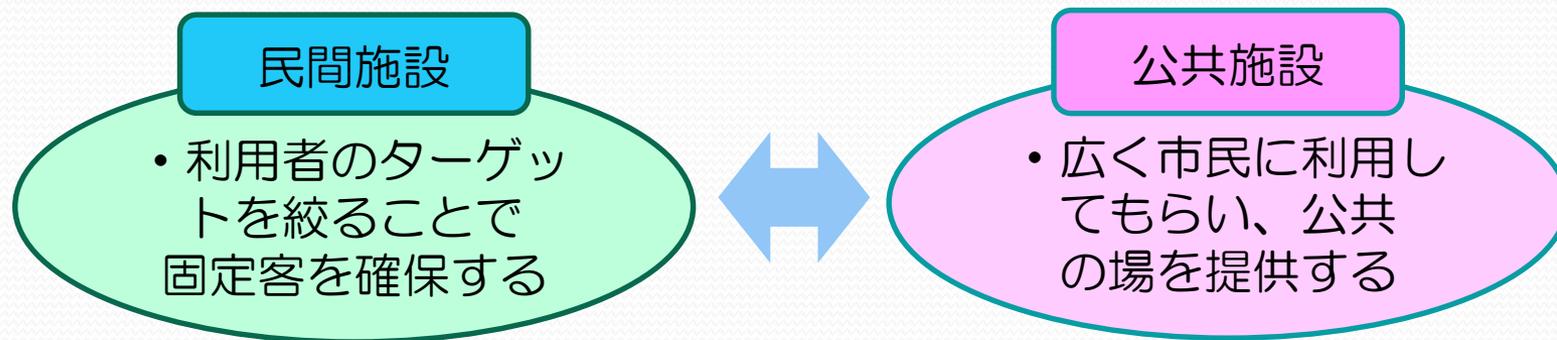
【適正配置方針に基づき
統廃合等を実施した場合】



今後の取組

1 公共施設のあり方

■公共施設とは



公共施設マネジメントは、財政問題であると同時に、広く市民に利用してもらおうという公共施設の本来の役割を取り戻すことでもあります。

これからは



「管理する側」の発想から「利用する側」の発想で考え直すことにより多様な人々が集う場を創造します。

2 他自治体の成功事例から学ぶ

■長岡市役所／アオーレ長岡



特徴

- 長岡駅と直結する複合施設で、アリーナ、ナカドマ（屋根付広場）、市役所、議場及び講演会からコンサートまで幅広く使える各種交流会などで構成されています。
- ナカドマ（屋根付広場）は、移動販売車などの出店、屋外コンサートの開催、パブリックビューイング等様々な用途で利用が可能です。

3 市民協働

手法	実施する内容等
ワークショップ	<ul style="list-style-type: none">・ 少人数対話型により、具体的な内容を深く議論することを目的とする。・ 個別具体の施設において、複合化等を行う際の利用者ニーズなどの把握や本計画の見直し時の市民意見の把握を目的とする。
市民フォーラム 市民シンポジウム	<ul style="list-style-type: none">・ 公開の場で討論することにより、大人数の市民への直接的な情報提供や意見交換を目的とする。・ 市民サービスに大きく関わるような施設のリニューアルのあり方や本計画の見直しのあり方についての情報提供や意見交換を目的とする。
パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none">・ 本計画を公表し、市民の意見を募ることにより、市民意見を考慮した意思決定につなげることを目的とする。・ 個別事業の実施計画や本計画の見直し時における市民意見の把握を目的とする。
市民意識調査	<ul style="list-style-type: none">・ アンケート形式により、老若男女、対象施設の利用の有無などを問わず幅広い層からの意見聴取を目的とする。・ 市民サービスに大きく関わるような施設のリニューアルに際しての市民意見の把握を目的とする。・ 計画実施による効果分析時の市民満足度の調査を目的とする。
広報清須	<ul style="list-style-type: none">・ 公共施設のリニューアルを行う際に検討の経緯や進捗状況の周知を目的とする。

4 学校教室の利用状況調査

■ 今後の具体的な取組案

小・中学校の空き教室等の利活用を検討することで、公共施設としての新たな価値の創造につなげます。

小規模
保育園
の誘致

- ・ 待機児童対策の一助
- ・ 複合化先進事例の確保

昼の高齢
者健康体
操教室

- ・ 常に空いていなくても、利用していない時間を使い、高齢者対象の健康体操教室を実施

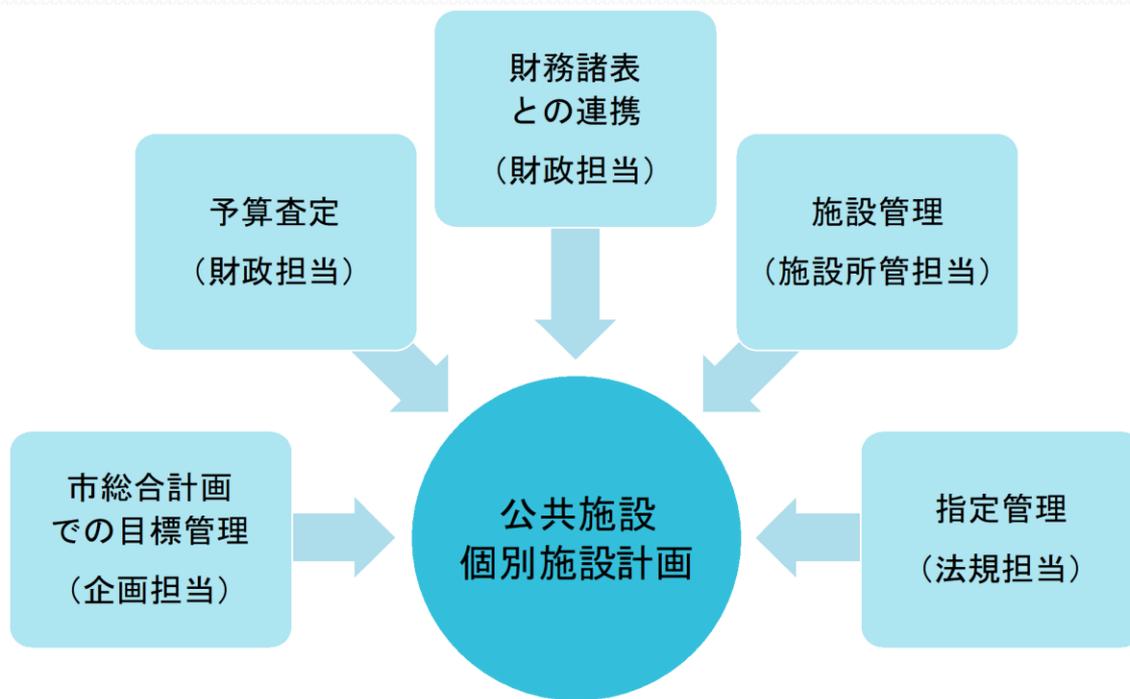
0～2歳児
家庭の集
いの場

- ・ これまで市公共施設の利用者枠に入らなかった人々がターゲット
- ・ 保育園利用者以外の子育ての場の創造

5 継続する仕組みづくり

■全庁的な課題への押し上げ

計画倒れにならないために、施設所管担当以外へも「役割」を付与し、全庁的な課題へと押し上げます。



ご清聴ありがとうございました。

<問い合わせ先>

清須市 総務部 財政課 管財係

電 話 : 052-400-2911(代表)

メー ル : zaisei@city.kiyosu.lg.jp